

(別紙2)

(高齢者の介護などに関する意識調査)の結果等及び今後の対応

令和6年3月

担当課	福祉保健部 長寿社会課
連絡先	0857-26-7860

1 アンケート結果を反映した事業の状況

- 令和6年4月から始まる「鳥取県老人福祉計画、鳥取県介護保険事業支援計画及び鳥取県認知症施策推進計画～鳥取県高齢者の元気と福祉のプラン～」の策定に当たり、介護保険や高齢期の暮らしに関する県民の皆様の意識等を調査するため、アンケート調査を実施。(計11問)
- アンケート調査の結果は、第9期鳥取県介護保険事業支援計画・老人福祉計画策定・推進委員会(第2回)[令和5年8月31日(木)開催]で報告し、保健・医療・福祉関係者、学識経験者等の各委員による活発な議論・意見交換を行った。

2 記述意見に対する対応方針

<設問>

介護の仕事について感じることをあればご記入ください。

意見	対応方針
○人材不足を解消するには、介護食の給与アップにより価値を上げることが必要。	○介護の現場で働く介護職員等の処遇改善を図るため、介護職員等処遇改善加算取得支援事業を継続して実施する。
○高齢者を介護支援員として活用する場を提供してはどうか。	○介護助手等として、地域の元気な高齢者等の介護現場への就職を支援することにより、人手不足の解消を図っており、継続して実施する。
○事件なども起こる昨今、介護職員のスキルアップを大いに望む。	○県では、介護職員の質の向上を図るため、介護の基礎知識や技術、さらなる専門性の習得を図る「介護専門職研修」をはじめ、職種・キャリアに応じた研修や認知症対応力・高齢者虐待対応などの分野別の研修も幅広く提供しており、継続して実施する。
○慢性的なマンパワー不足や人間関係により精神的に病んでしまう人が多い施設もあるようだ。調査を行い、対策をとってほしい。	○社会福祉施設の職員等を対象に、職場環境改善研修を実施し、職員のメンタルヘルス改善に努めていくこととする。また、職場の人間関係の構築等、職場環境を改善する手法について、関係機関と連携して検討する。

○介護を人材だけに頼るのは限界がある。介護ロボ等の仕組みづくりを優先すべきと思う。

○介護ロボット、ICT導入などの介護DXを推進することとしている。